

ATM利用者を狙ったスリやひったくり

オトシマシタヨ

アラ?



あ、危ない！
現金とカードから目を離さないで！

「ATM利用者を狙ったスリやひったくりとは？」
ATM利用時に注意をそらし、現金やキャッシュカードを盗む犯罪です。

犯人はATMでの現金引き出しや入金を狙って、あらゆる方法で利用者の注意をそらし、そのスキにATMの挿入口にある現金やキャッシュカードを盗みます。また、ATM利用者を尾行・待ち伏せしてひったくる場合もあります。

スリ・ひったくりチェックリスト ATM利用時はこんな人物にご用心!

- 背後や横でお金をわざと落とす。
- 「お金が落ちてますよ」「背中に何かついてますよ」などと話しかけてくる。
- ATM利用時に斜め後方や脇からのぞいてくる。
- ATM利用後の帰り道、尾行してくる。



手口1:注意をそらして、現金やキャッシュカードを盗む。

- ・ATM利用者の服を実際に汚しておいてから、「洋服が汚れてますよ」などと話しかけ、気にしているスキに現金やキャッシュカードを盗む。
- ・わざとお金をばらまいて「お金が落ちてますよ」などと話しかけ、利用者の気をそらし、そのスキに現金やキャッシュカードを盗む。

手口2:銀行員や警備員を装う。

銀行員や警備員を装って話しかけ、ATMの操作方法などを教えるふりをして暗証番号などを聞きだす。

手口3:尾行、待ち伏せして現金やキャッシュカードを奪う。

ATMで大金をおろしている利用者に目をつけ、尾行し、油断したときにひったくりやスリを行う。また、待ち伏せする場合もある。

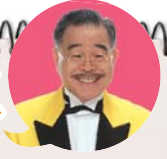
被害状況

■窃盗 ATMねらい

年次	認知事件数	検挙事件数	検挙人数
平成16年	234	55	31
平成17年	185	71	28
平成18年1月～6月	69	26	11

<警察庁刑事局刑事企画課「犯罪統計資料(平成17年1～12月分[確定値])」「犯罪統計資料(平成18年1～6月分)」より抜粋>

マギー's アドバイス



スリ・ひったくりから身を守るポイント

- その1 ATMを利用するときは、周りにあやしい人がいないか確認してね。操作が終わるまではキャッシュカードや現金から目を離しちゃダメよ。
- その2 ATMで多額の現金を扱うときは、なるべく人通りの多い昼間の時間を選びましょう。複数の人と利用すれば、より安全ですよ。
- その3 万が一犯罪にあってしまったら、まずは大声で助けを求めてね。キャッシュカードを盗まれた場合は、すぐに取引銀行に連絡して、口座を停止してもらいましょう。